

北陸新幹線建設促進同盟会主催の建設促進大会が開催されました 福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会が開催されました

5月22日(水)に東京都内において、北陸新幹線建設促進同盟会(北陸新幹線沿線の10都府県で構成・会長は杉本福井県知事)主催の建設促進大会が沿線の国会議員や知事など約260人の参加のもと開催され、松崎市長、藤田市議会議員が出席しました。

大会では、会長の杉本福井県知事があいさつで「日本の将来のために小浜・京都ルートがあると強く認識している」と述べ、「小浜・京都ルートによって、1日も早く全線開業するため、今年は大きな正念場の年になる」と話しました。

沿線自治体関係者から小浜・京都ルートでの整備が重要であるとの声が相次いだほか、与党整備委員会に就任する西田参院議員も、敦賀以西のルートについて「決定した議論を蒸し返すことはありえない」と述べたほか、鈴木京都府副知事も「小浜・京都ルートは日本全体に利益がある」と話すなど、今回の大会では、沿線府県全体が「小浜・京都ルート」で結束していることを確認できました。



▲挨拶する杉本福井県知事



▲ガンバロー三唱する出席者

6月8日(土)、敦賀市のニューサンピア敦賀において、福井県北陸新幹線建設促進同盟会の総会が開催されました。県選出の国会議員や県内外の経済界、自治体関係者など約170人が出席し、当市からは松崎市長と藤田市議会議員、小浜商工会議所の井田会頭が出席しました。

会長の杉本福井県知事は小浜・京都ルートを「唯一無二のルートであると考えている」と述べられ、一致結束して国へ熱意を届けると意気込みを語られました。

県内外の経済界からも、小浜・京都ルートによる早期全線開業を望む声が届けられ、最後は福井県議会北陸新幹線整備促進議員連盟会の仲倉会長の発声によるガンバロー三唱で結束を確認し、閉会しました。